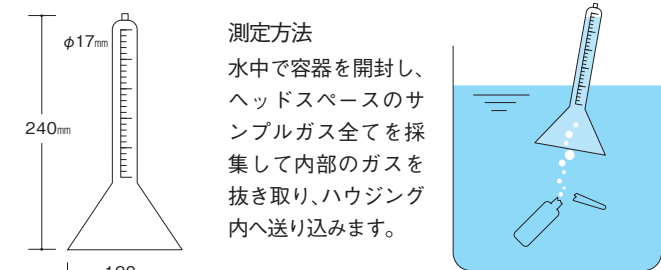
その他オプション（別売）

いろいろな容器のヘッドスペース測定やガス量も同時に測定できます。

■ガス採集硝子管：GS-2

測定方法
水中で容器を開封し、ヘッドスペースのサンプルガス全てを採集して内部のガスを抜き取り、ハウジング内へ送り込みます。

※ガラス製品につき多少のサイズ誤差がありますが、あらかじめご了承ください。

ペットボトルや缶のヘッドスペースの残存酸素測定を簡単にするお手伝いをします。

■オープナ：KO-X1（ペットボトル用）

測定方法
回転ハンドルを回してペットボトルのフタに穴をあけ、ヘッドスペースのサンプルガスを抜き取り、ハウジング内へ送り込みます。

フタの高さ　MIN：16（mm）　～MAX：35（mm）
首の直径　　MIN：φ22（mm）～MAX：φ36（mm）

■缶オープナ：KO-1（缶用）

測定方法
カッターで缶に穴をあけてヘッドスペースのサンプルガスを抜き取りハウジング内へ送り込みます。

※オープナをご使用頂く場合は、オプションのサンプラーS-2が必要です。

接続するだけで測定ボタンを押せば自動でプリントアウトします。

■プリンタ：CBM-910Ⅱ-40

印字例

弊社酸素計の愛称が「オキシアイ」になりました。
酸素を測る眼として末永くご愛顧をお願い申し上げます。

仕　様

製品名	残存酸素計・パックマスター
型　式	RO-103
測定方式	隔膜形ガルバニ電池式酸素センサー 半導体温度センサー
表示方式	4桁デジタル液晶表示
表示項目	O_2、ガス置換率、DO、飽和率、水温、バッテリ残量、 エラーメッセージ、校正時カウント
測定範囲	O_2 ：*0.00～9.99% O_2（最小分解能0.01% O_2） 10.0～25.0% O_2（最小分解能0.1% O_2） 2段オートレンジ ＊最小分解能は0.1% O_2に設定可能 置換率：0.0～100.0%（最小分解能0.1%） DO測定装置：MA-300（オプション）使用時のみ DO：0.00～9.99mg/ℓ（最小分解能0.01mg/ℓ） 10.0～20.0mg/ℓ（最小分解能0.1mg/ℓ） ＊ 2段オートレンジ ＊但し、溶存酸素飽和率の測定範囲内 溶存酸素飽和率：0.0～200.0%（最小分解能0.1%） 水温：0.0～40.0℃（最小分解能0.1℃）
計器精度	O_2 ：±0.03% O_2±1digit DO：±0.03mg/ℓ ±1digit 水温：±0.1℃±1digit
測定時間	O_2 ：6秒※1 DO：99%応答　撹拌開始後40秒以内※2
伝送出力	シリアル通信出力 ・プリンタに接続可 ・PCに接続可
校正方法	O_2 ：空気によるワンタッチ校正 DO：飽和水、または空気によるワンタッチ校正
機　能	自己診断機能：センサー寿命（センサー交換のお知らせ） 安定時間オーバー、センサー不安定 自動安定機能：数値が安定するとホールドして表示します 時計機能内蔵
使用温度範囲	0～40℃（O_2測定は結露しないこと）
電　源	単3アルカリ乾電池×4本（DC6V）または、ACアダプタ（AC100V）
外形寸法	170（W）×123（D）×72（H）mm 本体のみ（突起部分除く）
本体重量	約650g（乾電池含む）

※1.おくだけサンプラー（オプション）で最小分解能0.1% O_2表示設定時、複数サンプルを連続的に自動測定した場合の最短時間。
※2.DO測定装置：MA-300（オプション）使用、温度一定、同サンプル連続測定時の場合。
※測定ガスにCO_2が含まれていると、指示が不安定になったり、センサーの劣化を早めます。CO_2に影響のない機種を用意しておりますので、メーカーにご相談ください。

標準付属品

●パックマスター本体　●粘着ゴム
●ワグニット　●メンテナンスキット
●ACアダプタ　●取扱説明書（保証書）
●注射針

標準価格

本体一式（ワグニット含む）	¥390,000（税抜）	¥409,500（税込）
ワグニットWA-SGF（消耗品）	¥ 18,000（税抜）	¥ 18,900（税込）

※製品改良のため、予告なく仕様及び価格を変更する場合がありますので、ご了承ください。
（2008.8月現在）

iijima 飯島電子工業株式会社
営業部　〒443-0045 愛知県蒲郡市旭町15－12
フリーダイヤル 0120-67-2827　FAX 0120-69-6814
http://www.iijima-e.co.jp/

TÜV CERT　ISO 9001：2000認証

取扱店

Printed in Japan 2008.8
PRINTED WITH SOY INK

残存酸素計

包装パック内の残存酸素を管理する技術者の手助けとなるよう、弊社残存酸素計を「パックマスター」と名付けました。
「パックマスター」は、弊社の登録商標です。

品質管理のパートナーが成長しました。
より早く、より簡単に、より正確に測定します。

※こちらはオプション（別売）です。

サンプル測定無料

テスト器貸出無料

ISO 9001　当社では品質保証国際規格の認証を取得し良品質の商品をお届け致しています。

iijima 飯島電子工業株式会社

かつお節などの袋物から飲料用のペットボトルや缶の残存酸素をらくらくチェックできます。さらに、飲料の溶存酸素も測定できます。

ワンタッチで自動測定！
吸引ポンプ内蔵のため、測定ボタンを押すだけでOK。

液体を吸っても大丈夫！
万が一、液体を吸ってしまっても清掃するだけで再度使用できます。

電源ONですぐに使えます！
暖機運転が不要なのですぐに測定できます。

操作が簡単！
使用するボタンは5つ、しかも日本語表記でわかりやすい操作になっています。

どこでも測定可能！
乾電池でも使用できるので電源がとれない場所でも使用できます。

■測定方法
①サンプルに粘着ゴムを貼り、注射針を刺し込みます。
②測定ボタンを押して、測定開始。

※改良により実際の製品は異なる場合がございます。

らくらくメンテのワグニット（酸素センサー）
専用の膜張り治具があるので簡単に隔膜を張り替える事ができます。

専用治具に隔膜をセットしアウターセルに差し込むだけで、膜を張ることができます。

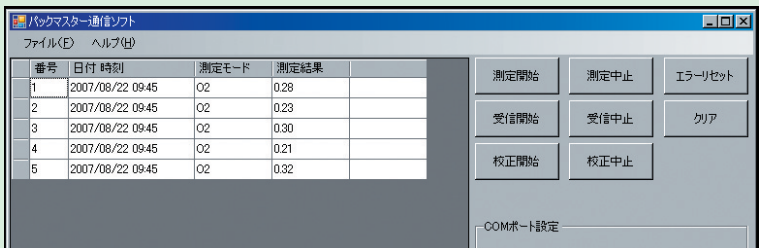
DO測定装置：MA-300 オプション（別売）

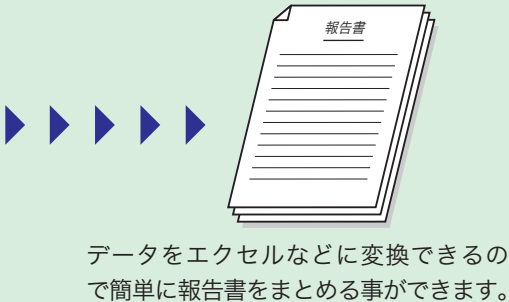
DOの測定も同時に行う事ができます
本体にDO測定装置をつなげるだけで、飲料の溶存酸素を測定する事ができます。

精度よく測定できるハウジング
サンプルを別の容器に移すことがなく、大気に触れずに測定できるので、より精度の高い値が得られます。

貴重なサンプルもムダにしません
測定に必要なサンプル量は最小で10cc。
ムダなサンプル量を極力少なくしました。

通信ソフト：RO-PG オプション（別売）

報告書作成に時間がかかってしまう！という方におすすめ
専用の通信ソフトを使うことで、データを自動で記録することができます。
報告書などの資料として活用したり、データの保管や管理、必要なデータの検索などが簡単にできます。

本体にパソコンを接続し、測定ボタンを押すと自動でデータを転送します。

データをエクセルなどに変換できるので簡単に報告書をまとめる事ができます。

作業時間短縮・安心を実感してください。

作業時間がぐーんと短くなりました
・自動吸引だから測定ボタンを押すだけで測定できます。
・自動安定機能により、安定したところで数値をホールドするので値を読み取るためにつきっきりになることはなく、一人で2台使うことも可能です。

安心して取り扱うことができ、さらに可燃性ガスに強いガルバニ式ワグニット（酸素センサー）
・寿命要因の40%を占めていた、隔膜のキズやシワをハードカバーと1mm引っ込めた隔膜保護構造で徹底的に排除しました。取り扱い時に、気を遣わず安心してご使用いただけます。
・ワグニット内部の電解液の成分を調整し、析出物の発生を遅らせることで寿命がアップしました。さらに電解液の変更と合わせて電極部の台座をセラミックにすることで応答速度もアップしました。
・ガルバニ電池式のため、サンプルにアルコールやコーヒー豆等から排出される可燃性ガスや脱酸素剤から出る可燃性の副生成ガスが含まれていても測定することができます。（ジルコニア式の場合、指示値が低めに出ることがあります。）

ムダなサンプルを最小限にしました
測定に必要なサンプル量は最小で3cc。
ガス量の少ないスティックパックも1サンプルで測定可能です。

例えばかつおぶしパックを1日100袋測定したら・・・

	パックマスター＋おくだけサンプラー	従来品
1袋あたりの測定時間	10秒	60秒
100袋/日測定した場合	17分/日	100分/日
1ヶ月測定した場合	約6時間/月	約33時間/月

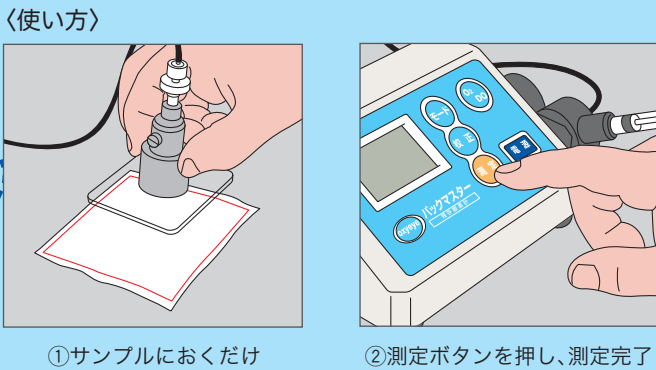
1ヶ月あたり約27時間も短縮できます！

ワグニットの交換（ワンタッチ交換）

おくだけサンプラー：PO-1 オプション（別売）

もっと作業時間を短くしたい！もっとコストを下げたい！方におすすめ 面倒な粘着ゴムはもう必要ありません
〈使い方〉

①サンプルにおくだけ

②測定ボタンを押し、測定完了

おくだけサンプラーは名前の通り、サンプルに置くだけで穴があき、測定できます。また特殊な粘着シートがついているので、サンプルからガスが漏れる事もありません。そのため、粘着ゴムを使用する必要がなく、作業時間の短縮やコストを削減することができます。
※真空パックや表面がザラザラした袋材の場合、使用できないことがあります。一度メーカーにご相談下さい。

加・減圧用サンプラー：S-2 オプション（別売）

真空パックやペットボトル・缶等で内部が加圧・減圧の場合でも測定できます
サンプラーS-2は、サンプルが真空パックの場合やペットボトル・缶等で内部が加圧・減圧の場合でも測定できるので、幅広いサンプル測定が可能です。また、従来品に比べ作業性もよくなりました。

〈使い方〉

①サンプルに粘着ゴムを貼り、注射針を刺し込みます。
コック部分を「吸引」に合わせてシリンジを引きます。
②コック部を「中立」に合わせ、常圧にします。

③コック部を「排出」に合わせてシリンジを押します。
④「吸引」「中立」「排出」を2〜3回繰り返し、測定完了。